



2022年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社スペースシャワーネットワーク
代表者名 代表取締役社長 林 吉人
(東証スタンダード・コード4838)
問合せ先 取締役 案納 俊昭
電 話 03-3585-3242
メールアドレス kouhou.ir@spaceshower.net

2023年3月期 第2四半期決算 質疑応答集

2023年3月期第2四半期決算に関して、株主・投資家の皆様から頂戴した主なご質問と当社の回答について下記のとおり公開いたします。

なお、ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

Q：業績予想を修正されましたが、最終利益が増加している理由について教えてください。また、修正数値は確実に達成できるものでしょうか。

A：有料放送収入や音楽配信収入が当初の想定を下回ったことにより、営業利益は下方修正しましたが、先進性の高いコンテンツに対する助成金（J-LOD 補助金）に当社のライブイベントが採択されたことなどにより、助成金収入の増加が見込まれることから、経常利益の予想を当初のまま据え置いております。また、第1四半期に投資有価証券売却益を計上したことなどにより最終利益の予想は上方修正いたしました。修正数値の達成確度については、様々な不確定要素はありますが、現時点では十分に達成可能な数値と考えております。

Q：下期以降で特に注力する部分や、期待できるものについて教えてください。

A：コロナ禍からの回復が顕著なライブハウスやエンタメカフェなどの店舗ビジネスやライブイベントの本格回復にむけて引き続き注力してまいります。また、ディストリビューション事業における成長を加速させるべく、クライアントの獲得にも注力してまいります。

Q：ディストリビューション事業は、具体的にどのように拡大していくのでしょうか。

A：音楽ストリーミングサービスにおいては、市場全体が成長過程にあり、市場拡大の余地があることに加えて、当社と配信契約済の楽曲の再生数シェア率が増加することや、楽曲を所有する新たなレーベルとの配信契約を獲得することで、音楽配信収入が増加いたします。当社としては、データマーケティングツールを活用し、配信実績データの分析などから、既契約の楽曲の再生回数が増加する施策を行なうと同時に、FUGA のグローバルネットワークを強みとして、海外への配信を積極的に考えているレーベルを中心に契約獲得に向けてアプローチしたいと考えております。

Q：円安の影響はありますか。

A：一部、ディストリビューション事業などで、海外との取引があり、プラスの影響とマイナスの影響がありますが、当社の業績への影響は軽微です。